



プロ野球選手。監督。伊予郡郡中町(現、伊予市)出身。愛媛県立松山商業学校(現、県立松山商業高等学校)で本格的に野球を始め、立教大学に進学した。日本にプロ野球が誕生した昭和11(1936)年、立教大学を中退して大東京軍(後、ライオン軍、朝日軍、松竹ロビンス)に入団する。太平洋戦争が激化し中断となるまでプレーし、戦後、再開されると元朝日軍の選手とゴールドスター(後、金星スターズ、大映ユニオンズ)を結成し、監督兼外野手を務めた。その後は中日ドラゴンズ・西鉄ライオンズ(現、埼玉西武ライオンズ)・ロッテオリオンズ(現、千葉ロッテマリーンズ)の選手・監督・助監督・ヘッドコーチ・二軍監督で活躍する。身長164cmの小柄な外野手であったが、攻守走三拍子がそろい、そのガッツあふれるプレーはファンを引きつけた。また、プロ野球史上、初の1,000試合出場と1,000本安打

第1号の記録を残している。平成4(1992)年、野球殿堂入りした。

略歴

大正3(1914)年4月7日	伊予郡郡中町に生まれる。
昭和11(1936)年	大東京に入団
昭和16(1941)年	盗塁王(26個)獲得
昭和17(1942)年	盗塁王(44個)獲得
昭和21(1946)年	ゴールドスター(通称金星)に入団(昭和23年まで)
昭和23(1948)年	球界初の1,000試合、1,000本安打を達成
昭和24(1949)年	中日ドラゴンズに入団(同26年まで)
昭和26(1951)年	現役を引退
昭和27(1952)年	名古屋ドラゴンズ監督に就任(同28年まで)
昭和29(1954)年	中日ドラゴンズ優勝時、助監督を務める。
昭和35(1960)年	西鉄ライオンズヘッドコーチに就任(同37年まで)
昭和39(1964)年	中日ドラゴンズコーチに就任(同45年まで)
昭和47(1972)年	ロッテオリオンズコーチに就任
昭和54(1979)年	中日合宿寮長兼コーチに就任(同61年まで)
平成4(1992)年	野球殿堂入り
平成9(1997)年9月16日	83歳で永眠

〈関連図書〉

- ・坪内道則『風雪の中の野球半生記』ベースボールマガジン社 1987年
- ・神田順治『92年度野球殿堂物語』ベースボールマガジン社 1992年
- ・塚田直和編『名古屋ドームへの道 ドラゴンズ60年を彩った男たち』鹿友館 1995年
- ・新宮正春『プロ野球を創った名選手・異色選手400人』講談社 1999年

〈主な収蔵資料〉…(P236, 188)

〈関連施設〉…野球殿堂博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61 東京ドーム21ゲート右 TEL: 03-3811-3600